

就労履歴管理システム推進本部始動

日本建設業連合会（日建連）は七月二十八日、六月の理事会において設置を決定した就労履歴管理システム推進本部の初会合を、幹事会と合同で開催した。

就労履歴管理システム（仮称）とは、建設技能者の技能・資格や、工事現場での就業履歴をデータベースに蓄積して一元的に管理するものである。

システム構築の目的は、
○適正な評価と処遇による「担い手確保・育成」を行う。

○建設技能者の雇用、賃金、社会保険等の適正な処遇を確立するための基礎的なインフラを構築する。

○効率的な人材配置による「生産性向上」を図る。
○建設現場に入場する技能者の実態を正確に把握し、建設現場の合理的かつ効率的な運営や、安全管理の徹底を図る。

ことであり、それにより、人に支えられた現場で成り立つ建設業が、従来以上に建設技能者を



7月28日に開催された就労履歴管理システム推進本部の初会合

大切に産業になることを目指すものである。日建連は、三月に公表した建設業の長期ビジョンにおいてもその必要性を訴えたところである。

国土交通省は就労履歴管理システム（仮称）について、五月に開催された建設産業活性化会議において、国が旗振り役となって早期の構築を目指すとの方針を示し、併せてシステム構築に向けてユーザーとなる建設業関係者、学識経験者、行政、労働組合等が一同に会して、実施主体の選定方法、費用負担等に関する具体的な検討を行う「官民コンソーシアム」を立ち上げることを決定した。

日建連では、官民コンソーシアムに的確に対応するとともに、同システムの整備を強力に推進するために推進本部の設置を決定したものである。

国土交通省では、八月六日にコンソーシアムの第一回会議を開催し、年度内にコンソーシアムを二、三回程度、作業グループを五回程度開催し、中間取りまとめを来年三月ごろまでに公表するとしている。

その後、平成二十八年度上期にシステムの設計・構築を行い、下期に試行的な運用を開始、二十九年度から本格運用を開始したいとしている。

日建連の推進本部は、九月初旬に第二回の幹事会を開催し、秋～年内には中間的な取りまとめを行う予定である。

日建連としては、今回のシステムが建設技能

者、建設業者双方にとって使いやすく、有用なシステムとなることを目指して、推進本部における成果を積極的にコンソーシアムに発信していきたいと考えている。

建設業の長期ビジョン及び指定公共機関に関する説明会を開催

日本建設業連合会（日建連）は、本年三月に公表した「建設業の長期ビジョン——再生と進化に向けて——」および、四月一日付で指定を受けた「指定公共機関」に関する会員向け説明会を全国九支部で開催している。

「建設業の長期ビジョン」は、今後一〇年以内を予想される一〇〇万人規模の大量離職時代を乗り切るとともに、たくましい建設業再生の決意を内外に示し、未来型の産業構造への進化の

道筋を示すものであり、その内容について担当役員から説明を行っている。

一方、日建連は建設業関係団体としては初めて、内閣総理大臣より、災害対策基本法上の「指定公共機関」として指定を受けた。指定公共機関の概要や政府における今後の災害対応への取組み、指定公共機関指定に合わせて策定した日建連の防災業務計画について説明を行っている。

日時	主催団体	時間	場所
7月29日(水)	日建連 関西支部	13:30 ~ 16:30	国民会館
8月4日(火)	日建連 中部支部	13:30 ~ 16:45	愛知県産業労働センター
8月26日(水)	日建連 本部・関東支部	14:00 ~ 16:30	鉄鋼会館
8月31日(月)	日建連 北陸支部	14:00 ~ 16:30	新潟県建設会館
9月3日(木)	日建連 東北支部	13:30 ~ 16:30	ホテルメトロポリタン仙台
9月7日(月)	日建連 北海道支部	13:30 ~ 15:30	北海道建設会館
9月9日(水)	日建連 中国支部	13:30 ~ 15:40	メルパルク広島
9月16日(水)	日建連 九州支部	15:50 ~ 16:50	福岡国際会議場
10月13日(火)	日建連 四国支部	13:30 ~ 15:45	香川県建設会館